情報一覧管理
L-TOOL InfoList (ver 2.1)
取扱説明書

Little Net　　http://l-tool.net/

- 2015 年 07 月 04 日版 -

【目次】

1. 概要
2. サーバーへの設置
3. 設定
4. デザイン変更
5. 制限解除キー
6. 利用規定
7. 更新履歴

■1. 概要

このWEBツールは、様々な情報を管理し、一覧リストを表示するphpスクリプトです。
php5以上、HTMLファイルの文字コードがUTF-8用のスクリプトです。
phpが使用できるWEBサーバーに設置することで、簡単に、新着一覧、トピック一覧、QandA、商品・製品一覧などの一覧リスト画面およびその詳細画面を設置できます。

尚、サーバーで使用できるphpのタイプ(モジュール版/CGI版)により、幾つかアップロード不要なファイルがあります。

モジュール版 phpの場合	●使用できるphpがモジュール版（拡張子 .php）の場合は、下記のCGI版用のphpはアップロード不要です。（さくらインターネットのスタンダード等） …/infolist.php …/infolist.cgi ---------- アップロード不要(CGI版用のphp) …/admin.php …/admin.cgi ---------- アップロード不要(CGI版用のphp) （上記赤字以外は全てアップロード）
CGI版 phpの場合	●使用できるphpがCGI版（拡張子 .cgi）の場合は、下記のモジュール版用のphpはアップロード不要です。 …/infolist.php ---------- アップロード不要(モジュール版用のphp) …/infolist.cgi …/admin.php ---------- アップロード不要(モジュール版用のphp) …/admin.cgi （上記赤字以外は全てアップロード） ※CGI版の場合、サーバーによっては上記infolist.cgi と 各admin.cgi の先頭行のphpパス（#!/usr/local/bin/php）が違う場合があります。この場合はこのパスをサーバーの環境に合わせて変更して下さい。

■2. サーバーへの設置

このWEBツールは、WEBサーバーがApacheでphpを利用できるサーバー向けに制作されています。
サーバーへの設置は以下を参照してください。

【1】解凍後、フォルダー内の内容をそのままサーバーの適当なフォルダー(又はトップ)にアップロードします。

例)　lt-infolistXXXX/　　---->　　http://example.com/list/
(XXXXはバージョン番号)

CGI版phpを使用する場合、サーバーによっては、infolist.cgiと各admin.cgi
(admin.cgi, wbsys/base/admin.cgi, wbsys/infolist/admin.cgi)の先頭行のPHPパス
#!/usr/local/bin/phpが違う場合があります。この場合はこのパスをサーバーに合わせて変更して下さい。

【2】サーバー設置時の各フォルダー・ファイルの属性(＝パーミッション)は以下( )内の通りです。

```
list/  ----------------------- (0755) 設置フォルダー（設置はphp設置可能な場所なら自由に可能）
  ├ l-tool.html ------------ (0644) L-TOOLフリーソフト設置確認用のHTML
  ├ infolist.php(.cgi) ----- (0755) InfoListメインPHP
  ├ admin.php(.cgi) -------- (0755) 管理機能ジャンプ用PHP
  ├ tmp-list1.html --------- (0644) リスト1用テンプレートHTML （デザインはこのファイルを修正）
  ├ tmp-list2.html --------- (0644) リスト2用テンプレートHTML （デザインはこのファイルを修正）
  ├ tmp-list3.html --------- (0644) リスト3用テンプレートHTML （デザインはこのファイルを修正）
  ├ tmp-detail.html -------- (0644) 詳細ページ用テンプレートHTML （デザインはこのファイルを修正）
  ├ infolist.css ----------- (0644) テンプレートCSS　（修正したデザインに必要なければ不要です）
  ├ .htaccess -------------- (0644)  apache 設定ファイル
  └ wbsys/ ----------------- (07xx) システムフォルダー【※１】
     ├ infolist/ ---------- (07xx) 情報一覧機能用フォルダー【※１】
     │  ├ admin.php(.cgi)-- (0755) 管理機能PHP
     │  ├ xxx.php.cgi ----- (0644) 各種プログラムPHP
     │  ├ tmp-xxxx.html --- (0644) テンプレート用HTML
     │  └ data/ ----------- (自動生成フォルダー)
     ├ base/ -------------- (07xx) 管理機能用フォルダー【※１】
     │  ├ admin.php(.cgi)-- (0755) 管理機能PHP
     │  ├ xxx.php.cgi ----- (0644) 各種プログラムPHP
     │  ├ tmp-xxxx.html --- (0644) テンプレート用HTML
     │  └ data/ ----------- (自動生成フォルダー)
     ├ lib/ --------------- (0755) 各種PHPプログラムフォルダー
     ├ css/ --------------- (0755) システムが使用しているCSS
     ├ js/ ---------------- (0755) システムが使用しているJavascript
     └ extool/ ------------ (0755) 使用している他のフリーソフト

【※１】(07xx) は (0755) でエラーが出る場合は (0777) に設定して下さい。（phpの実行時ユーザーが
        apacheで実行されるサーバーの場合、0755ですと自動生成フォルダー等の生成でエラーが発生します）
```

※上記の設置で、ブラウザから以下のphpスクリプトが起動できます。

```
管理機能　→ http://.../list/admin.php　　(又はadmin.cgi)
情報一覧　→ http://.../list/infolist.php　　(又はinfolist.cgi)
```

■3. 設定

システムをサーバーに設置後は、管理機能を起動し、以下の設定を行って下さい。

【1】管理機能の起動

・ブラウザから、管理機能を開いて下さい。

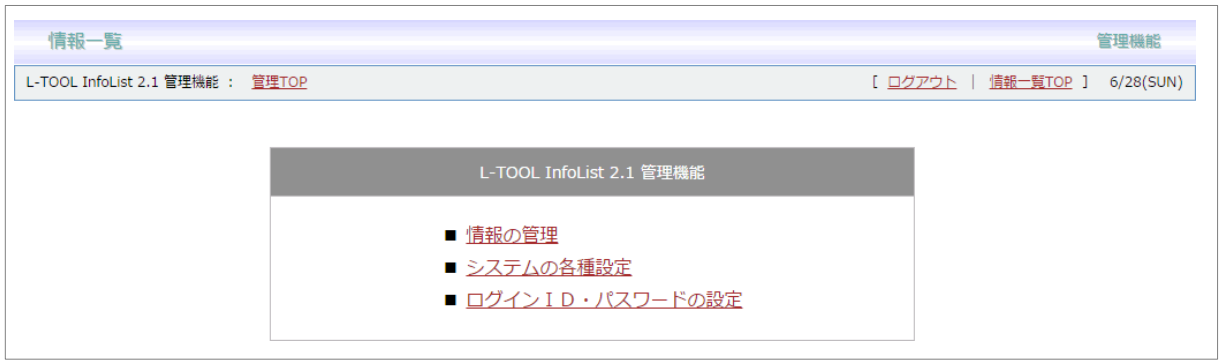
例）http://・・・・・/list/admin.php　(admin.cgi)

・最初のみ「初期セットアップ」画面が表示されます。

「設置 URL1」「設置 URL2」「管理者名」「管理者メールアドレス」「ログインID」「パスワード」等を設定して下さい。

設定後はログイン画面が表示されます。上記で設定した「ログインID」「パスワード」でログインして下さい。

・ログイン後は「管理TOP」メニュー画面が表示されます。



「情報の管理　＞　情報の一覧（登録／更新／削除）」から、すぐに情報の登録が行えます。

登録された情報は、そのまま一覧に表示されます。

一覧の種類は List1、List2、List3 と３種類あります。

【2】登録した情報の確認

実際に登録した各情報が、各一覧リスト画面および詳細画面にどのように表示されるかは、ブラウザに、例えば、以下の様なURLを指定して確認できます。

[リスト１(List1)の場合]　http://・・・・・/list/infolist.php?p_act=list1
[リスト２(List2)の場合]　http://・・・・・/list/infolist.php?p_act=list2
[リスト３(List3)の場合]　http://・・・・・/list/infolist.php?p_act=list3?p_cate=(カテゴリコード)
[詳細画面の場合]　　http://・・・・・/list/infolist.php?p_act=detail?p_key=(key値)

ユーザー側（フロント側）のHTML等からリンクする場合も、上記のようなURLでリンクします。

（パラメータの説明）

（１）p_act
p_act=xxx はどタイプの画面を表示するかのパラメータです。
タイプには、list1, list2, list3, detail　があります。
それぞれ、リスト１、リスト２、リスト３、詳細画面、を表示します。

（２）p_cate
p_cate=xxx は情報をカテゴリ別に表示したい場合のパラメータです。
（カテゴリ別に表示しない場合は必要ありません）
あらかじめ、情報にはカテゴリを指定して登録しておきます。
カテゴリの種類は「管理TOP ＞ 情報の管理 ＞ 情報の各種設定」から編集できます。

（３）p_page
p_page=xxx は情報が複数ページに分かれる場合の表示ページを指定するパラメータです。

（４）p_key
p_key=xxx は情報の詳細画面を表示する際の、情報を識別するkey値を指定するパラメータです。
（注意）key値を指定しても、List1～List3 全てで非表示に指定されている情報は表示されません。

【3】情報入力項目の設定

登録情報は「情報の管理 ＞ 情報の各種設定」より、カテゴリの内容や項目名などが変更できます。
また、各一覧リスト画面の表示順や、１ページの表示行数も指定できます。

■4. デザイン変更

このWEBツールは、テンプレートのHTMLファイルを編集する事により、デザインを自由に変更できるように設計されています。

【1】デザインの修正ファイル(テンプレートHTMLファイル)

情報一覧の各画面は以下のテンプレートファイルからできています。

（1）一覧リスト　（ tmp-list1.html, tmp-list2.html, tmp-list3.html ） （2）詳細ページ　（ tmp-detail.html ）

このシステムは、テンプレートのHTMLファイルを読込み、変換指定“##xxxxxxxx##”を登録されているデータに変換し、表示します。
ですので、この変換指定をテンプレートHTMLに組み込む事で、デザインは自由に変わります。

【2】変換指定の概要

大きく分けて、変換指定には、以下の種類があります。

(1) 置換変換指定

##xxxx##

##xxxx## を特定の項目の内容に置換します。

例) ##LIST_TEXT01##　--- 一覧リスト(tmp-listN.html)で、項目「テキスト1」の内容に置換します。
例) ##DETAIL_TEXT01## --- 詳細画面(tmp-detail.html)で、項目「テキスト1」の内容に置換します。

(2) IF変換指定

<!--##IF_xxxx##--> ～ <!--##/IF_xxxx##-->

特定の条件が真の場合のみ、<!--##IF_xxxx##--> ～ <!--##/IF_xxxx##--> の間が有効になります。
<!--##IF_NOT_xxxx##--> ～ <!--##/IF_NOT_xxxx##--> は条件が偽の場合に有効になる指定です。

例) <!--##IF_LIST_EXIST##-->　--- 一覧リストで、データが存在する場合のIF変換指定。
例) <!--##IF_DETAIL_EXIST##--> --- 詳細画面で、データが存在する場合のIF変換指定。

(3) 繰り返し変換指定

<!--##LIST##--> ～ <!--##LIST##-->

一覧リストで、対象の情報数分、<!--##LIST##--> ～ <!--##LIST##--> の間を繰り返します。
繰り返し変換指定には以下があります。
<!--##LIST##--> ～ <!--##LIST##--> --- 情報数分繰り返し　(一覧リストで使用可)
<!--##CLIST##--> ～ <!--##CLIST##--> --- カテゴリ数分繰り返し(一覧リスト、詳細画面で使用可)
<!--##PLIST##--> ～ <!--##PLIST##--> --- 改ページリスト分繰り返し(一覧リストで使用可)

【3】一覧画面で使用可能な変換指定

一覧リストのテンプレートHTMLでは以下の変換指定が使用できます。

※ 一覧リストのテンプレートは、tmp-list1.html, tmp-list2.html, tmp-list2.html

※ xxは項目の番号で、テキスト項目の場合は01～10、それ以外は01～05

※ (S)は画像サイズで、L,M,Sの3種類のサイズがあります。

※ [L] は、その変換指定が、<!--##LIST##-->～<!--##LIST##-->の中のみで有効、を表します。

※ [PL] は、その変換指定が、<!--##PLIST##-->～<!--##PLIST##-->の中のみで有効、を表します。

※ [CL] は、その変換指定が、<!--##CLIST##-->～<!--##CLIST##-->の中のみで有効、を表します。

##MYACT## --- phpスクリプト名に置換
<!--##IF_LIST_EXIST##--> --- 情報が一つでもある場合に真
<!--##IF_PLIST_EXIST##--> --- 改ページリストが必要な場合(複数ページの場合)に真
<!--##IF_CLIST_EXIST##--> --- カテゴリがある場合に真

(情報リスト)

<!--##LIST##--> --- この変換指定で囲まれた範囲を、情報数分繰り返し
##LIST_KEY## --- [L]情報のkey値
##LIST_CNT## --- [L]リスト内のカウント
##LIST_CATE_CODE## --- [L]カテゴリのコード
##LIST_CATE_STR## --- [L]カテゴリの名称
##LIST_TEXTxx## --- [L]テキスト項目の値 (例)##LIST_TEXT10##
##LIST_TAREAxx## --- [L]テキストエリア項目の値 (例)##LIST_TAREA05##
##LIST_IMG(S)xx_PATH## --- [L]画像項目の画像ファイルパス (例)##LIST_IMGL05_PATH##
##LIST_IMG(S)xx_EXT## --- [L]画像項目の画像ファイル拡張子
##LIST_IMG(S)xx_WIDTH## --- [L]画像項目の画像ファイルの幅
##LIST_IMG(S)xx_HEIGHT## --- [L]画像項目の画像ファイルの高さ
##LIST_IMGxx_TITLE## --- [L]画像項目のタイトル (例)##LIST_IMG05_TITLE##
##LIST_FILExx_EXT## --- [L]ファイル項目のファイル拡張子 (例)##LIST_FILE05_EXT##
##LIST_FILExx_DOWNLOAD_URL## --- [L]ファイル項目のダウンロードリンク用URL
##LIST_FILExx_DOWNLOAD_TITLE## --- [L]ファイル項目のダウンロードリンク用タイトル
##LIST_INS_TIME_YY## --- [L]登録日時－年 (表示例) 2015
##LIST_INS_TIME_Y2## --- [L]登録日時－年 (表示例) 15
##LIST_INS_TIME_MM## --- [L]登録日時－月 (表示例) 01
##LIST_INS_TIME_M## --- [L]登録日時－月 (表示例) 1
##LIST_INS_TIME_DD## --- [L]登録日時－日 (表示例) 01
##LIST_INS_TIME_D## --- [L]登録日時－日 (表示例) 1
##LIST_INS_TIME_HH## --- [L]登録日時－時 (表示例) 00
##LIST_INS_TIME_MI## --- [L]登録日時－分 (表示例) 00
##LIST_INS_TIME_SS## --- [L]登録日時－秒 (表示例) 00

<!--##IF_LIST_CATE##-->　　--- [L]カテゴリが設定されている場合に真
<!--##IF_LIST_TEXTxx##-->　　--- [L]このテキスト項目が設定されている場合に真
<!--##IF_LIST_TAREAxx##-->　　--- [L]このテキスト項目が設定されている場合に真
<!--##IF_LIST_IMGxx##-->　　--- [L]この画像項目が設定されている場合に真
<!--##IF_LIST_FILExx##-->　　--- [L]このファイル項目が設定されている場合に真
<!--##IF_DETAIL_FILExx_PDF##--> --- [L]このファイル項目のファイル拡張子が PDF の場合に真
<!--##IF_LIST_IMG_EXIST##-->　　--- [L]画像項目が一つでも設定されている場合に真
<!--##IF_LIST_FILE_EXIST##-->　　--- [L]ファイル項目が一つでも設定されている場合に真

(改ページ)
##PAGE##　　--- 現在ページ
<!--##PLIST##-->　　--- この変換指定で囲まれた範囲を、改ページリスト数分繰り返し
##PLIST_TOTAL##　　--- 総情報数
##PLIST_CNT1##　　--- 現在ページの情報開始番号
##PLIST_CNT2##　　--- 現在ページの情報末尾番号
##PLIST_TOP##　　--- 先頭ページ番号(＝1)
##PLIST_BOTTOM##　　--- 末尾ページ番号
##PLIST_PAGE##　　--- [PL]ページ番号
##PLIST_PREV##　　--- [PL]前ページ番号
##PLIST_NEXT##　　--- [PL]次ページ番号
<!--##IF_PLIST_CURRENT##-->　　--- [PL]ページ番号が現在ページの場合に真
<!--##IF_PLIST_TOP##-->　　--- 先頭ページへのリンクを表示しても良い場合に真
<!--##IF_PLIST_BOTTOM##-->　　--- 末尾ページへのリンクを表示しても良い場合に真
<!--##IF_PLIST_PREV##-->　　--- 前ページへのリンクを表示しても良い場合に真
<!--##IF_PLIST_NEXT##-->　　--- 前ページへのリンクを表示しても良い場合に真

(カテゴリ)
##CURRENT_CATE_CODE##　　--- 現在画面のカテゴリコード
##CURRENT_CATE_STR##　　--- 現在画面のカテゴリ名称
<!--##CLIST##-->　　--- この変換指定で囲まれた範囲を、カテゴリ数分繰り返し
##CLIST_CODE##　　--- [CL]カテゴリコード
##CLIST_STR##　　--- [CL]カテゴリ名称
<!--##IF_CLIST_CURRENT##-->　　--- [CL]カテゴリコードが現在カテゴリの場合に真

【4】詳細画面で使用可能な変換指定

詳細画面のテンプレートHTMLでは以下の変換指定が使用できます。

※ 詳細のテンプレートは、tmp-detail

※ xxは項目の番号で、テキスト項目の場合は01～10、それ以外は01～05

※ (S)は画像サイズで、L,M,Sの3種類のサイズがあります。

※ [CL] は、その変換指定が、<!--##CLIST##-->～<!--##CLIST##-->の中のみで有効、を表します。

##MYACT## --- phpスクリプト名に置換
<!--##IF_DETAIL_EXIST##--> --- 対象key値の情報が表示可能な場合に真
<!--##IF_CLIST_EXIST##--> --- カテゴリがある場合に真

##DETAIL_KEY## --- 情報のkey値
##DETAIL_CATE_CODE## --- カテゴリのコード
##DETAIL_CATE_STR## --- カテゴリの名称
##DETAIL_TEXTxx## --- テキスト項目の値 (例)##DETAIL_TEXT10##
##DETAIL_TAREAxx## --- テキストエリア項目の値 (例)##DETAIL_TAREA05##
##DETAIL_IMG(S)xx_PATH## --- 画像項目の画像ファイルパス (例)##DETAIL_IMGL05_PATH##
##DETAIL_IMG(S)xx_EXT## --- 画像項目の画像ファイル拡張子
##DETAIL_IMG(S)xx_WIDTH## --- 画像項目の画像ファイルの幅
##DETAIL_IMG(S)xx_HEIGHT## --- 画像項目の画像ファイルの高さ
##DETAIL_IMGxx_TITLE## --- 画像項目のタイトル (例)##DETAIL_IMG05_TITLE##
##DETAIL_FILExx_EXT## --- ファイル項目のファイル拡張子 (例)##DETAIL_FILE05_EXT##
##DETAIL_FILExx_DOWNLOAD_URL## --- ファイル項目のダウンロードリンク用URL
##DETAIL_FILExx_DOWNLOAD_TITLE## --- ファイル項目のダウンロードリンク用タイトル
##DETAIL_INS_TIME_YY## --- 登録日時－年（表示例）2015
##DETAIL_INS_TIME_Y2## --- 登録日時－年（表示例）15
##DETAIL_INS_TIME_MM## --- 登録日時－月（表示例）01
##DETAIL_INS_TIME_M## --- 登録日時－月（表示例）1
##DETAIL_INS_TIME_DD## --- 登録日時－日（表示例）01
##DETAIL_INS_TIME_D## --- 登録日時－日（表示例）1
##DETAIL_INS_TIME_HH## --- 登録日時－時（表示例）00
##DETAIL_INS_TIME_MI## --- 登録日時－分（表示例）00
##DETAIL_INS_TIME_SS## --- 登録日時－秒（表示例）00
<!--##IF_DETAIL_CATE##--> --- カテゴリが設定されている場合に真
<!--##IF_DETAIL_TEXTxx##--> --- このテキスト項目が設定されている場合に真
<!--##IF_DETAIL_TAREAxx##--> --- このテキスト項目が設定されている場合に真
<!--##IF_DETAIL_IMGxx##--> --- この画像項目が設定されている場合に真
<!--##IF_DETAIL_FILExx##--> --- このファイル項目が設定されている場合に真
<!--##IF_DETAIL_FILExx_PDF##--> --- このファイル項目のファイル拡張子がPDFの場合に真
<!--##IF_DETAIL_IMG_EXIST##--> --- 画像項目が一つでも設定されている場合に真
<!--##IF_DETAIL_FILE_EXIST##--> --- ファイル項目が一つでも設定されている場合に真

(カテゴリ)

<!--##CLIST##-->	--- この変換指定で囲まれた範囲を、カテゴリ数分繰り返し
##CLIST_CODE##	--- [CL]カテゴリコード
##CLIST_STR##	--- [CL]カテゴリ名称
<!--##IF_CLIST_CURRENT##-->	--- [CL]カテゴリコードが現在カテゴリの場合に真

■5. 制限解除キー

このソフトウエアは「制限解除キー」を購入して管理機能から設定する事で、以下の制限が解除されます。

【1】解除される制限

・画面下部に表示される L-TOOL へのリンク広告の削除。キーの設定により自動で削除されます。
・最大情報登録数 50件 の制限が解除されます。

【2】キーの入手方法

・L-TOOL のホームページ (http://l-tool.net/) の「制限解除キー」より申し込みください。

【3】キーの設定方法

・「管理機能 ＞ システムの各種設定」 内の 「制限解除キー」 項目に、入手したキーを設定して下さい。

■6. 利用既定

このソフトウエアを利用する前に「利用規定」を確認し、内容に同意したうえでこのソフトウェアを利用してください。

【1】利用規定

(1)このソフトウェアは商用ウェブサイト・非商用ウェブサイトを問わず、自由に設置して利用できます。
(2)このソフトウェアを利用する事で利益が得られる場合は、必ず制限解除キーを取得して下さい。
【制限解除キーを取得する必要のある場合】
・このソフトウェアを有償でウェブサイトへ設置する場合。或いは、このソフトウェアを設置する事自体で利益が得られる場合。
・有償で制作・設置するウェブサイトへ、このソフトウェアを設置する場合。
・過去に有償で制作・設置したウェブサイトや、利益関係のある相手のウェブサイトに、このソフトウェアを設置する場合。
・このソフトウェアを設置したウェブサイトを貸し出して利益を得る場合(有償レンタル。無償レンタルだが広告収入が有る場合)
・その他このソフトウェアを利用する事により直接利益が生じる場合。
(3)画面内に L-TOOL (l-tool.net) へのリンク広告が表示されますが、これを削除したり見えなくしたりしないで下さい。
L-TOOL へのリンク広告を非表示にしたい場合は、制限解除キーを購入するか、有料設置をご依頼下さい。
(4)このソフトウェアの不具合等により利用者等に損害が発生した場合であっても、損害に対する賠償責任は当方(制作者)には無いものとします。この点に同意したうえでこのソフトウェアを利用して下さい。
制限解除キーを取得した場合や、有料設置した場合でも同様です。
(5)ソフトウエアに不具合等があった場合でも、当方は個別の対応はできません。ご了承ください。
制限解除キーを取得した場合や、有料設置した場合でも同様です。
(6)このソフトウエアの著作権は当方(制作者)にありますが、パッケージ内に当方制作以外のフリーソフト等が含まれている場合、そのフリーソフトの著作権・利用規約のみは各フリーソフトの規定となります。

【2】不具合に関して

このソフトウェアに不具合があった場合、個別の対応はできませんが、後のバージョンアップの為、ホームページのお問い合わせフォームより、不具合のご連絡を頂ければ幸いです。

■7. 更新履歴

2015 年 06 月 30 日　［Ver2.1］有料設置版 InfoList をフリーソフトとして提供開始。